

東京学芸大学附属特別支援学校における

金融教育の取り組み

東京学芸大学附属特別支援学校 金融教育共同研究プロジェクト

小金井俊夫 吉澤洋人 小島啓治

川井優子 高橋由佳 松本直巳

I はじめに

東京学芸大学附属特別支援学校は、東京学芸大学・みずほフィナンシャルグループ金融教育共同プロジェクトに2007年度より参加し、「特別支援教育における金融教育」というテーマで研究・実践的検討を行ってきた。特別支援教育への転換期であるこの時期に、金融教育を、支援を必要としている子どもたちにどうなげかけていくかは、特別支援教育の内容的検討という意味において重要なものであると考える。それは、この子どもたちが、社会の中でどのように生きていくかを考える契機であり、そのためにどのような学習内容を学校として与えられるかを考える機会でもあると思うからである。今回の報告は、金融教育を、知的障害を主たる対象とする特別支援学校高等部の中・軽度の生徒への「くらしづくり」のための学習の一環としてとらえ、この3年半の間に本校で検討してきた内容と授業実践について報告するものである。

II 研究の課題

研究の課題を次のように設定した。

- ① 金融教育の指導内容の検討 : 高等部の中・軽度生徒を対象とした金融教育の指導内容のモデルを作成する。
- ② テキスト、指導案集の作成 : 上記指導内容を元にしたテキストや指導案集を作成する。
- ③ 授業づくり : 指導内容の検討のための授業を行う事を通して、授業づくりのポイントを明らかにする。

III 特別支援教育における金融教育の指導内容のモデル

1 ねらい

特別支援教育における「金融教育」の学習は、生徒達の卒業後の生活現実の中で具体的にいかされていかなければならない。我々は、特別支援教育における「金融教育」を、「生活とお金に関わる学習内容」ととらえ、現在、そして卒業後に主体的に生活を形成していく生徒達の

「くらしづくり」の学習の一環として、そのねらいを検討した。

- ① 金銭に関する生活に必要な知識と技能を身につけ、今の生活にいかすとともに、将来の生活について考えることができる。
- ② 将来の生活の主体者として、金銭管理の方法など生活に必要な金銭に関わる事柄を考え、また身につけることができる。
- ③ 金銭に関する身近な事柄や、将来必要になる事柄に関心を持ち、自分の将来の生活を想定する中でその内容や必要性について考えることができる

2 指導内容の検討

特別支援教育（知的障害を主たる対象とする、以下同じ）において、金融教育の内容をどの教科や領域で扱うかという点は、それぞれの学校の教育課程により様々であろう。我々は、金融教育の内容がそれらの教科や領域にまたがるものとして、そして、本人達の生活に近い内容であるべきものと考え、「わたしたちのくらしとお金」という名称でこの教育内容をまとめることとした。この「わたしたちのくらしとお金」の指導内容を知的障害を主たる対象とする特別支援学校高等部における中・軽度生徒への「くらしづくり」ための学習ととらえた時、その内容は大きく二つに分けることができる。そのひとつは、生徒達が卒業後の生活の中で出会う具体的な場面の中で必要となる知識や行動の学習である。例えば旅行などの計画の立て方や予算についてであり、また、銀行の利用の仕方や、金銭管理の方法などである。もうひとつは、より社会的事象に関心を深め、社会で起こっていることが理解できるようになっていくための知識である。例えば年金についてであり、流通や物の値段についての知識などである。本研究では、これらの学習を「わたしたちのくらしとお金」という名称でまとめ、上記分類の前者を「くらしとお金」、後者を「社会と経済」という名称でまとめた。資料1が「わたしたちのくらしとお金（2010年度版）」の指導内容の一覧である。詳しくは2007年度の本校の紀要「東京学芸大学附属特別支援学校研究紀要No.52」を参考にさせていただきたい。

IV 生徒用テキストや指導案集の作成について

2008年度の主な検討内容のひとつが生徒用テキストの作成である。テキスト「くらしとお金」は、「わたしたちのくらしとお金」という名称でまとめた「特別支援教育における金融教育の指導内容」（以下「指導内容」）の内の前半「くらしとお金」の部分を生徒用のテキストとしてアレンジしたものである。「指導内容」が特別支援学校高等部の中・軽度の生徒を対象としているように、このテキストも同じ生徒達を対象として構成している。テキストは、「指導内容」の前半「くらしとお金」を構成している5つの内容に「はじめに」と「おわりに」をつけた全7章で構成されている。内容としては、「くらしとお金」に盛り込まれた内容の導入の部分でまとめたものと捉えていただければと考えている。また、いくつかの節に1ページ以上のワークシートを配している。各学校等で使用される場合には、これらの点を考慮して頂き、それぞれの授業の対象者の状況等に応じ、また、必要な内容に関してさらに掘り下げて授業を行って頂きたいと考えている。ワークシートについてもそのまま使ってもかまわないし、ひとつの参考

としてさらに生徒たちに合わせた工夫をしていただけると、とも考えている。

また、指導案集については、現在検討を重ねている段階で、残念ながら作成には至っていない。

V 授業づくり

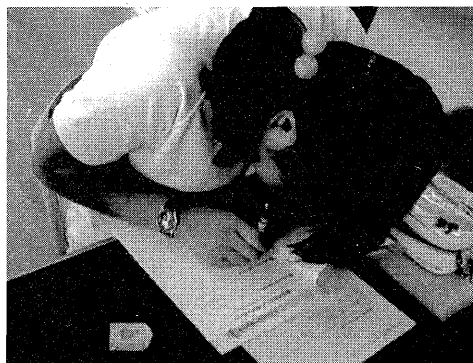
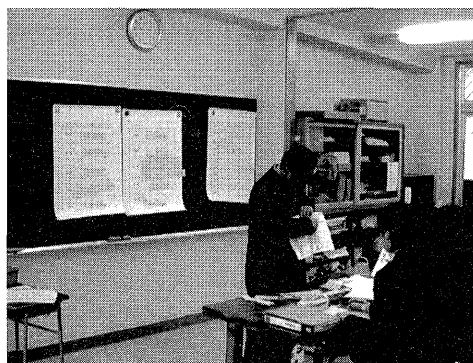
授業づくりについては、研究の当初から高等部の「くらし」の時間に軽・中度の生徒を中心としたグループで継続的に行ってきた。そして、2009度はテキスト「くらしとお金」に沿って以下のような内容の授業展開を試みた。

- ① 導入：自分とお金、現在・将来の自分
- ② 計画的な金銭の使用：上手な買い物の仕方
- ③ 計画的な金銭の使用：外出の計画
- ④ 金融機関や社会資源の利用：銀行・ATMの利用
- ⑤ 危機回避・消費者教育：個人情報、携帯電話、キャッチセールス、出会い系サイト
- ⑥ 生活設計・金銭管理：将来の私に必要なお金
「私はこんな部屋に住みたい」
- ⑦ 生活設計・金銭管理：ひとりぐらしに必要なお金、生活費・費目について
- ⑧ 生活設計・金銭管理：生活費について知ろう
- ⑨ 生活設計・金銭管理：収入と支出
- ⑩ 支援機関や支援者の利用：私のための支援機関、サポーターズサークル

これらの授業は、概ね始めにその時間のテーマを示し、内容の解説をしながら一緒に黒板上のワークシートを埋め、最後にワークシートに記入するという展開で行われている。また、授業を組み立てるにあたっては次のような点に配慮するようにした。

- ①生徒の主体性を重視する。
- ②現実的な場面を経験するとともに、将来の自分の生活を想像させる。
- ③生徒に身近な、また具体的な話題から考えさせ、具体的な内容や教材を準備する。
- ④現在の生活や将来の生活への見通しを持たせ、学習内容を自分のもの（こと）としてとらえられるようにする。
- ⑤必ず「困ったとき」の対応を教える。
- ⑥1つの授業に1つ以上のワークシートを準備し、時間内にまとめさせる。
- ⑦必要に応じて生徒の生活状況などの情報を保護者から得ておく。
- ⑧ゲストティーチャーなども有効に利用する。

授業展開の例を資料2に示すので参考にいただければと思う。

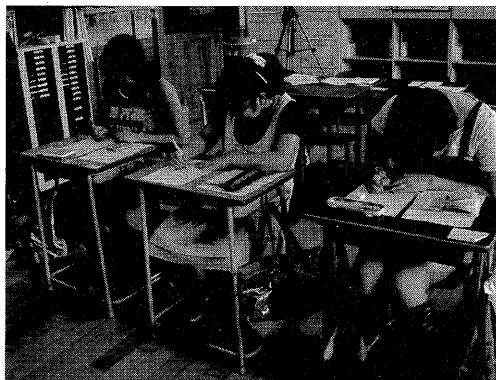
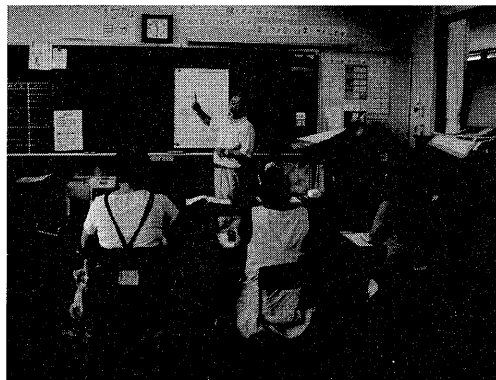


VI 2010年度の活動

今年度はこれまで手がつけられていなかった「わたしたちの暮らしとお金」の「社会と経済」分野のテキストづくりに取り組んでいる。これに関しては今のところ、①テキスト試案の作成、②授業での試用、③テキストの修正、という流れで製作していく予定である。実際の製作にあたっては、昨年度授業づくりを行ってきた卒業生3名に協力していただき、月1回日曜日に2時間の授業を行っている。今年度は以下のような授業に取り組んだ。

- ①プロローグ 給料をもらって・・・
- ②収入・労働と賃金1 私の給料どこから来るの？
- ③収入・労働と賃金2 給与明細表を見よう1
(資料3)
- ④収入・労働と賃金2 給与明細表を見よう2
- ⑤収入・労働と賃金3 給料はだれが使う？
- ⑥収入・労働と賃金4 預金をしよう
- ⑦税の徴収と国の支出1 税金ってなんだろう？1
- ⑧税の徴収と国の支出1 税金ってなんだろう？2
- ⑨税の徴収と国の支出2 税金の払い方、戻し方
- ⑩税の徴収と国の支出3 税金の使われ方
- ⑪税の徴収と国の支出4 国の財政の課題

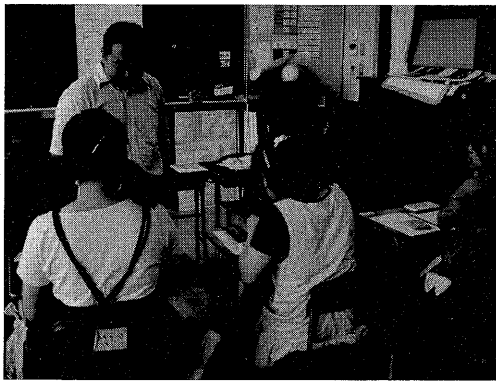
今年度は、以上のような授業を行ってきた。学習の内容的には卒業生たちには難しいことも多かったようだが、給与明細の学習などは自分たちのこととして現実的に捉えられるところもあり、真剣に授業に参加してくれていた。



VII 今後の課題

以上、この4年間の本校における「金融教育」の研究の取り組みについて記してきた。計画してきたことがなかなか前に進まないジレンマもあるものの、少しずつではあるが進展してきているように感じている。最後に今後の進め方であるが、引き続き次のことをまとめて行ければと考えている。

- ①「社会と経済」分野のテキストの作成
- ②上記テキストに基づいた授業づくり
- ③指導案集の作成



資料1 「わたしたちのくらしとお金」の指導内容 (2010改訂)

1. 目標

- ①金銭に関する生活に必要な知識と技能を身につけ、今の生活にいかすとともに、将来の生活について考えることができる。
- ②将来の生活の主体者として、金銭管理の方法など生活に必要な金銭に関わる事柄を考えることができる。
- ③金銭に関する身近な事柄や、将来必要になるであろう事柄に関心を持ち、自分の将来の生活を想定する中でその内容や必要性について考えることができる

2. 内容

- 1) 身近な金銭管理や生活設計 (分野：くらしとお金)
 - ・計画的な金銭の使用
 - ・金融機関や社会資源の利用
 - ・金銭管理・生活設計
 - ・消費者教育・危機回避
 - ・支援機関や支援者の利用
- 2) 社会や経済に関する知識と理解 (分野：社会と経済)
 - ・収入・労働と賃金
 - ・税の徴収と国の支出
 - ・年金とその問題
 - ・流通と経済についての基礎知識
 - ・貨幣の種類と価値
 - ・新しいお金とその利用
 - ・お金に関する犯罪とその予防

3. 具体的内容と指導の展開

1) くらしとお金

指導内容	ねらい	指導の具体的項目	授業展開例
上手にお金を使う (計画的な 金銭の使用)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に関わる金銭的事象に関して金銭の使用に関する計画の立て方や上手なお金の使い方を身につける ・金銭を計画的に使うことの大切さを知り、行動できる 	・買い物しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要なものは何 ・生活に必要なものが売っている場所 ・いろいろな買い物の仕方 ・買い物の際に気をつけること ・かしこい買い物の仕方
		・外出しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・外出の計画を立てよう ・外出に必要な費用は ・楽しく外出するために
		・高いものを 買いたいときは	<ul style="list-style-type: none"> ・高いものを買いたいときはどうする ・お金を計画的に貯める ・相談しながら考えよう
		・こづかい帳を つけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・こづかい帳をつけてみよう ・費目について ・こづかい帳の上手な使い方
銀行や 郵便局に行こう (金融機関や 社会資源の利用)	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関の役割について知る ・金融機関の利用方法を知り、利用の方法を身につける ・金融機関等の利用の際に気を付けなければならないことがわかる 	・銀行や 郵便局の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行や郵便局でできること ・金融機関に行ってみよう ・預金や貯金、預貯金の目的 ・給与振り込み
		・預金や 貯金について	<ul style="list-style-type: none"> ・預金や貯金の仕方 ・通帳を作ろう ・キャッシュカードについて ・キャッシュカードを 使ってみよう
		・金融機関の 便利な使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・給与振り込み ・自動引き落としの使い方と注意 ・クレジットカード
		・銀行や郵便局を 使うときの注意	<ul style="list-style-type: none"> ・通帳や暗証番号の扱い方 ・キャッシュカードや 暗証番号の注意

卒業後の暮らし (生活設計・ 金銭管理)	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の生活について考えることができ、金銭面で必要な知識を身につけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の生活について考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業したら・・・(将来を考える) どんな暮らしがしたい(将来の希望、住まいなどの暮らし方の実際) 仕事と給料 暮らし方のいろいろ(1日、1週間、1ヶ月、1年の生活) 趣味を持とう(豊かなくらしのために)
		<ul style="list-style-type: none"> 収入と支出 	<ul style="list-style-type: none"> ひとりぐらしに必要なお金 仕事と給料 自分のくらす場所 収入・支出ってなに 支出の費目 年金について 税金について
		<ul style="list-style-type: none"> 生活費について知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 生活費の内訳は いくらくらいかかるかな 自分の生活について考えよう
		<ul style="list-style-type: none"> 家計簿をつけよう 	<ul style="list-style-type: none"> 家計簿の費目 自分にあつた家計簿 家計簿をつけてみよう
		<ul style="list-style-type: none"> 自分にあつたお金の管理 	<ul style="list-style-type: none"> お金の管理ってどんなこと 自分だったらどうしよう 自分にあつた金銭の管理
		<ul style="list-style-type: none"> 自分のしたい将来のくらし 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目指す将来のくらし 仕事と収入 生活のためのお金 将来のためにがんばること
安心なくらし (危機回避、 消費者教育)	<ul style="list-style-type: none"> プリペイドカードやクレジットカード、その他の新しいお金についての知識や、適切な使い方がわかる キャッチセールス等お金に関する危険についての知識を持ち、危機回避の方法がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 便利なお金とその使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 便利なお金のいろいろ クレジットカード プリペイドカード 電子マネー 便利なお金とその注意
		<ul style="list-style-type: none"> 銀行や郵便局を使うときの注意 	<ul style="list-style-type: none"> 通帳や暗証番号の扱い方 キャッシュカードや暗証番号の注意
		<ul style="list-style-type: none"> お金の危険 	<ul style="list-style-type: none"> どんな危険があるのだろうか 悪徳商法 キャッチセールス 通信販売の危険 インターネットの危険 携帯電話をかしこく使おう 個人情報について 印鑑の使用や暗証番号の扱い 危険の回避 被害者になったら 加害者にならないために
困ったときには (支援機関や 支援者の利用)	<ul style="list-style-type: none"> お金に関してどんなことで困ることがあるかを理解し、その対処方法がわかる 支援機関や支援者の存在がわかり、その利用方法を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> 困った時ってどんなとき 	<ul style="list-style-type: none"> 困った時ってどんなとき 困った時はどうしたらいい
		<ul style="list-style-type: none"> 支援機関や支援者の利用 	<ul style="list-style-type: none"> 支援機関って何だろう 支援機関や支援者の利用の仕方 私が見える支援機関 サポーターズサークルについて

2) 社会と経済

指導内容	ねらい	指導の具体的項目	授業展開例
給料（工賃） について （収入・労働 と賃金）	<ul style="list-style-type: none"> ・労働と賃金に関する基本的知識を身につける ・卒業後の生活を考えながら、自分仕事や給料の使い方を考えることができる 	・仕事と給料	<ul style="list-style-type: none"> ・給料はいくら？ ・働くことと給料
		・給与明細の見方	<ul style="list-style-type: none"> ・給料の中身は何だろう ・給料明細を見てみよう
税金って何だろう （税の徴収と 国の支出）	<ul style="list-style-type: none"> ・税金やその使われ方についての基本的知識を身につける 	・税金の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・税金って何？ ・どんな税金があるの？ ・税金の払い方、戻し方
		・税金の使われ方	<ul style="list-style-type: none"> ・国の財政と税金 ・税金の使われ方
年金について （年金とその問題）	<ul style="list-style-type: none"> ・年金についての基本的知識を身につける ・年金の支払い方や年金の受け取り方がわかる 	・年金ってなに	<ul style="list-style-type: none"> ・年金って何？ ・年金の仕組み ・障害基礎年金について
		・年金の支払い方	<ul style="list-style-type: none"> ・年金はどこで支払う？ ・年金についての注意
		・年金を受けるには	<ul style="list-style-type: none"> ・年金をもらえるかな？ ・年金の手続きの仕方
値段の仕組み （流通と経済）	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの流通や値段の決まり方などに関する基本的知識を身につける 	・値段は どうやって決まる	<ul style="list-style-type: none"> ・物には値段がある ・値段はどうやって決まる？
		・流通の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・流通って何のこと？ ・品物の動き方と値段
日本のお金、 外国のお金 （貨幣の種類と 価値）	<ul style="list-style-type: none"> ・貨幣の種類や価値についての基本的知識を身につける ・外国の貨幣やその価値について理解できる 	・日本のお金、 外国のお金	<ul style="list-style-type: none"> ・外国のお金はどんな物？ ・日本のお金と比べてみよう
		・外国に行く時には	<ul style="list-style-type: none"> ・外国に行く時の注意 ・外国に行った時の注意
電子マネーって 何だろう （新しいお金と その利用）	<ul style="list-style-type: none"> ・様々に変化している電子マネーについての基礎知識を身につける。 	・電子マネーって 何だろう	<ul style="list-style-type: none"> ・電子マネーのいろいろ ・電子マネーの利用の仕方 ・電子マネーを使うときの注意
お金と犯罪 （犯罪とその予防）	<ul style="list-style-type: none"> ・お金に関わる犯罪についての基本的知識を身につける ・被害者にも加害者にもならないためにどのようにすることが必要かがわかる 	・犯罪って何	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪って何だろう ・犯罪を犯すとどうなるの？
		・お金に関わる犯罪	<ul style="list-style-type: none"> ・お金に関わる犯罪って どんなこと？ ・お金の偽造 ・被害者や加害者に ならないために

資料2 授業展開例 「ひとりぐらしに必要なお金：生活費について知ろう」

1) 授業について

「ひとりぐらしに必要なお金：生活費について知ろう」			
対 象	高等部3年 Aグループ 3名	時 間	(2/3) 時間
目 標	<p>○自分の今の生活を考えながら、ひとりぐらしに必要なものやお金について考えることができる。</p> <p>○生活費の3分類がわかる。</p> <p>○「くらしに必要なお金」の費目を知り、費目に分類したり、必要なお金を考えたりすることができる。</p>		
準備物	テキスト、ワークシート、短冊、分類用シート		
授業のポイント			
指導内容のポイント	<p>「将来のわたしに必要なお金」の内容を3時間で計画した。</p> <p>第1回 「わたしはこんな部屋に住みたい」</p> <p>第2回 「ひとりぐらしに必要なお金、生活費について」 ←本時</p> <p>第3回 「収入と支出」</p> <p>本時は、「ひとりぐらしに必要なお金」というテーマで、くらししていくために必要なお金全体を「生活費」という名称で捉えさせることとした。さらに「生活費」を「くらしに使うお金」「預金」「娯楽費」の3種類に分けて考えること、「くらしに使うお金」の内容を費目で分けて考えること、それぞれの費目の内容を知ることを中心とした。授業の展開では、できるだけ生徒たちの今の生活から出てくる意見や発想を取り入れ、それを内容的に分類していく形がとれればと考えている。また、授業の最後に、生徒たちが考える「実際にひとりぐらしで使うお金」がいくらくらいになるかを出させてみたいと考えている。</p>		
授業展開上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの「2 ひとりぐらしに必要なお金(35ページ)」について説明をし、そこから今の生活でどのようにお金を使っているかを考えさせる。 ・費目に分類することを理解させるため、費目の分類の練習を入れる。 ・ワークシート4(37ページ)を使いながら、自分たちが考える生活費がいくらくらいになるか、いくらくらいかかるのかを想像できるよう工夫したい。 		
ゲストティーチャーの利用			
ワークシートのポイント	今回はテキストにあるワークシートを使用する。		
ワークシート(例)			

2) 展開例

活 動	展 開	留 意 点
挨拶をする。 前時の学習について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 ・前時に自分の住みたい部屋について考え、レイアウトしたことを思い出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のワークシートで確認する。 ・個々の生徒の作った物を確認し特徴を明確にして伝える。
本時の学習内容について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりぐらしに必要なお金について、どのように考えるかを学習することがわかる。 	
ひとりぐらしに必要なお金を3種類に分類して考えることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト35ページの「2 ひとりぐらしに必要なお金」を読み、生活費を「くらしに使うお金」「預金」「娯楽費」の3種類に分けることを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを読み確認したら、それぞれの分類項目に当てはまるものを生徒から出させる。
生活費の費目について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト35ページの「3 生活費について知ろう」を読み、生活費の費目をあげる。その上でそれぞれの費目について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の今の生活にもあるような具体的内容で確認できるとよい。
ドキドキワークシート3を行い、費目の内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今の生活で購入しているものなどを短冊に書かせ、黒板上でそれを費目分類する。 ・時間をとり、ワークシートを記入する終了後黒板上で確認していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの練習もかねて行う。
実際にひとりぐらしにどんなお金が必要かを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりぐらしに必要なものを考え、そのおおよその代金とともに短冊に書き込む。 ・黒板上に費目分類の拡大表を貼り、生徒たちの短冊を分類しながら貼り付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板上に費目分類の拡大表を貼っておき、分類は生徒とともに行う。 ・足りないものについては必要に応じて示唆する。
ドキドキワークシート4を記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板上の表をもとにワークシートを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この間に合計金額を出しておく。作業の早い生徒にやらせてもよい。
ワークシートの結果について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・金額や自分たちが書いた必要なものについて考え、感想を言わせる。必要であれば表にないものを補ってもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金額が多くて理解しにくいときには支援する。
次回の学習内容について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は実際にもらえる今日雨量の金額をもとに考えてみることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの内容を具体的にまとめられるワークシートを用意する。
学習のまとめをする	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の学習のまとめをし、終了する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活費、生活費の分類、費目などの点を確認する

資料3 給料明細書をみてみよう2

1) 授業について

社経-1-2		「給与明細書をみてみよう2」	
対 象	本校卒業生 3名	時 間	(2/2)時間
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○給与明細書の見方を知り、自分の給料がどうなっているかに興味を持つ。 ○給与明細書の各項目の意味がわかる。 ○給与明細書の持つ意味がわかり、自分の給料にこれまでよりも関心が持てる。 		
準備物	ホワイトボード、ワークシート、給与明細書一覧表、電卓		
授業のポイント			
指導内容のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・給与明細書の見方を知る 就業に関する項目、支給に関する項目、控除に関する項目、その他 支給総額-控除の総額=実際に支払われる給料 ・給与明細書で使われることばの意味がわかる。 就業に関する項目：就業状況、倦怠項目、出勤日数、実働日数、 実働時間 時間外勤務、年休、週休、欠勤、等級、号数 支給に関する項目：支給内訳、基本給、手当、差引支給額、通勤手当 控除に関する項目：控除、雇用保険、労働保険、健康保険、 厚生年金保険、介護保険、所得税、 その他の項目：累計 		
授業展開上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・給与明細書には就業に関する項目、支給に関する項目、控除に関する項目、その他の項目の4種類の内容があることがわかる。同時にそれぞれの項目の内容についてわかるとよい。 ・明細書ごとの表記の違いを考えながら説明をするようにす。 ・給与明細書に使われていることばについて、具体例を出しながら説明する。 ・給与明細書が自分の給料を知るために大切な物であり、毎月きちんと見る必要があることがわかるようにする。 		
ゲストティーチャーの利用	学校事務関係の人に手伝ってもらってもよい。		
ワークシートのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2「わからないことば一覧表」(板書用) 抜き書きされたわからないことばを板書するための表。勤務状況に関することば、支給項目に関することば、控除項目に関することば、その他のことばを色分けして貼り付けられるようにする。必要に応じて生徒が書き込めるワークシートも用意する。 ・ワークシート3「まとめのワークシート」 給与明細書が大切な書類であること、実際にもらえる給料は「支給の総額-控除の総額」で計算できること、毎月しっかり確認するようにすること等が理解できればよい。 		
備考			

2) 展開例

活 動	展 開	留 意 点
挨拶をする。 前時の振り返りを行い、本時の内容について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 ○「給与明細書」に書かれていることを学習したことを振り返らせ、「給与明細書」の見方とわからないことばについて知ることを伝える。 	○
給与明細書の見方について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ○給与明細書の中身が、勤務状況に関する項目 支給に関する項目 控除に関する項目 その他の項目 で成り立っていることに気づかせる。 ○それぞれの項目の内容について説明する。 ○給料の手取額が支給の総額－控除の総額で計算できることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に使ったわからないことばの一覧表を有効に使えるよう工夫する。 なぜ4種類に分けたのか明細表を色分けして ○テキストに沿って項目について説明、可能な限り明細書でも確認させる。 ○時間があれば、テキストの明細書で実際に計算させてみる。
わからないことばについてその意味を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に抜き書きした「わからないことばの一覧表」に書かれていることばについて、テキストも使いながら説明する。 ○その際、次の4分類についても確認させるようにする。 A：勤務状況に関することば B：支給項目に関することば C：控除項目に関することば D：その他のことば 	<ul style="list-style-type: none"> ○テキストにあることばの一覧表を利用しながら解説する。 ○一覧表にないことばはテキストに書き入れる。
本時の学習についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめのワークシートを使って、本時のまとめを行う。 ・給与明細書が大切な書類であること ・実際にもらえる給料は「支給の総額－控除の総額」で計算できること ・毎月しっかり確認するようにすること等が理解できればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒と考えながらまとめられるとよい。 ○生徒によっては「給与明細表を自分で管理することまで理解できるとよい。